

長年の経験と豊富な情報で 高齡者住宅のM&Aを支援

福岡県の介護事業者や高齡者住宅の情報や、ウェブサイト「老人ホーム110番」や、市区町村役場や病院へ配布している情報誌『手をつないで』・『老後の暮らし』を通して発信。老人ホームに関する無料相談も受け付けるなど、高齡者とその家族の立場に立った事業を展開している九州高齡者住宅情報センター。その長年の経験と豊富な情報



同社代表の飯尾幸一氏



同社が運営するウェブサイト「老人ホーム110番」のトップページ

量を生かして、近年、高齡者住宅のM&A支援に注力している。「従来の事業を展開する中で、高齡者住宅を売却したい、あるいは購入したいという相談が増えてきました。今年は、すでに20件のM&Aを成功させています」(九州高齡者住宅情報センター代表・飯尾幸一氏)

高齡者住宅の経営は難しく、異業種参入したけれど撤退せざるを得ない売り主と、事業を拡大したい買い主が拮抗きっこうしているのが現状だと飯尾氏。このような業界の再編成は、今後さらに加速していくと指摘する。

「とはいえ、入居者やスタッフを含めてのM&Aですから、一般住宅の仲介のように単純ではありません。地域密着で事業を展開してきた当社ならではの精査情報を駆使し、丁寧なコンサルティングをした上で、マッチングしています」(飯尾氏)

情報量が豊富なので、スピーディな取引が可能なのも強み。興味のある事業者は、問い合わせてみるという。